

ARIBからのお知らせ

第72回電波利用懇話会開催のお知らせ

地上テレビジョン放送のデジタル化をはじめとする通信・放送分野におけるデジタル化の進展等に対応して、同分野における規制の整理・合理化を行うことが求められています。

こうした状況を受け、総務省は、2008年2月に「通信・放送の総合的な法体系の在り方」について情報通信審議会に諮問を行うなど検討を進めてきましたが、2010年3月、通信・放送分野の法体系を60年ぶりに抜本的に見直すこと等を内容とする「放送法等の一部を改正する法律案」が閣議決定され、国会に提出されました。

当会では、下記により、第72回電波利用懇話会を開催し、同法案の内容等について、総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課の林課長補佐及び総合通信基盤局電波部電波政策課の野水企画官をお招きしてご講演いただくこととしました。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時： 平成22年5月19日(水) 午後1時半から3時まで
- 2 場所： 社団法人電波産業会 会議室 (日土地ビル11階)  
東京都千代田区霞が関1-4-1 TEL:03-5510-8592
- 3 題名： (仮題) 「放送法等の一部を改正する法律案について」  
－60年ぶりの抜本改正－
- 4 講師： 総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課  
課長補佐 林 弘郷 様  
総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課  
企画官 野水 学 様
- 5 対象： ARIB正会員及び賛助会員  
(席に余裕がある場合に限り、会員以外についてもお受けします。)
- 6 参加者： 80名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 7 申込先： 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) 「講演会等開催案内」
- 8 参加費： 無料
- 9 問合せ先： 企画国際部 電波利用懇話会事務局  
TEL: 03-5510-8592

## 第76回規格会議を開催

平成22年4月26日に第76回規格会議を東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催しました。

今回は、次に掲げる標準規格の策定1件、改定9件、技術資料の策定2件及び改定4件について審議され、すべて提案のとおり承認されました。

- 1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System 標準規格及び技術資料の改定について
- 2 IMT-2000 MC-CDMA System標準規格及び技術資料の改定について
- 3 OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX<sup>TM</sup> applied in Japan) 標準規格の改定について
- 4 小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格の改定について
- 5 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格の改定について
- 6 高度広帯域衛星デジタル放送におけるダウンロード方式標準規格の策定について
- 7 サーバー型放送における符号化、伝送及び蓄積制御方式標準規格の改定について
- 8 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格の改定について
- 9 デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格の改定について
- 10 デジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定について
- 11 5.1chサラウンド番組の制作技術ガイドライン技術資料の策定について
- 12 ファイルベースによる番組交換方式技術資料の策定について
- 13 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について
- 14 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について

今回の策定または改定の概要については、次号および次々号にて紹介する予定です。



第76回規格会議の様子

### 第168回技術委員会（通信分野）を開催

第168回技術委員会（通信分野）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成22年4月28日(水) 午後2時から3時20分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
  - (1) アジア・太平洋電気通信共同体（APT）ワイヤレスフォーラム第8回会合について報告がありました。
  - (2) 第10回日中韓情報通信標準化会議の概要について報告がありました。
  - (3) 照会相談業務について報告がありました。
  - (4) 標準規格及び技術資料のホームページによる提供状況について報告がありました。
  - (5) 免許不要局の拡大に向けた検討について説明があり、関係者にその対応を依頼することになりました。
  - (6) 公共ブロードバンド移動通信システムの導入に伴う制度整備について説明があり、標準規格の早期策定等について意見が交わされました。

### 第71回電波利用懇話会を開催

4月26日、当会の会議室にて、第71回電波利用懇話会を開催しました。

今回は「新FCCブロードバンド計画とワイヤレスメーカーのインプリケーション」というテーマで、元 米国連邦通信委員会 (FCC) 次長 マイケル・マーカス博士を講師にお迎えしました。



第71回電波利用懇話会の様子とマイケル・マーカス博士

講演では、2010年3月16日にFCCが発表したNational Broadband Planの概要について説明があり、その中には以下の6項目のブロードバンド計画の目標が掲げられていました。

- (1) 米国内1億の家庭に、下り100Mbps/上り50Mbpsのアクセスを可能にすること
- (2) 米国は最速のモバイルネットワークの技術革新で世界をリードすること
- (3) 全ての国民がブロードバンドサービスに加入できアクセスできること
- (4) 学校、病院、政府の建物などには少なくとも1Gbpsのアクセス可能な環境を持つこと
- (5) 国民の安全を確保すべき責任者は、全国レベルで、相互運用可能なワイヤレスブロードバンドネットワークにアクセスできること
- (6) クリーンエネルギー社会を推進していくために、リアルタイムにエネルギー消費量を追跡管理できるブロードバンド環境を利用可能なこと

この目標を達成するためには、TVの空きチャンネルの有効利用のための革新的なスペクトルのアクセスモデルの拡大が必要なことなど、日本語を交えて説明いただきました。

全体を通し、受講者の高い関心を集め、活発な質疑応答がなされました。

## 編集後記

5月4～5日に、相模川の河原で開催された「相模の大凧まつり」を見学してきました。

この相模の大凧は、天保年間(1830年頃)から受け継がれてきた相模原市の伝統

行事の一つで、「相模の大凧保存会」によって活動が続いています。

なかでも、写真の八間凧は、14.5メートル四方(128畳分)、重量950kgものサイズがあり、毎年揚げているものとしては日本一の大きさを誇っています。引き綱は太さ3~4cmで長さが200m、しっぽの長さは85m、糸目は43本で1本が65m、凧揚げに必要な人数は80~100人、凧揚げに必要な風速は10~15mです。

骨となる竹は去年の10月に切り出し乾燥させ、紙は埼玉県東秩父村の和紙の里から取り寄せたそうです。今年の題字は、この4月1日に相模原市が政令指定都市となったのを記念して「祝政」でした。

今年は風が弱く高々とは揚がりませんでしたでしたが、巨体が空に浮かぶさまは壮大そのものでした。



(編集子:bsj)